◆第3章:トップスポーツ組織の地域活動の捉え方や課題に関するまとめ

【記載内容】 ※以下の設問に対する回答結果を記載。次頁以降に詳細データあり。

<問5> 地域活動に関する各種取組みの捉え方

<問6> 地域活動に関する課題

【内容サマリー】

<問5>

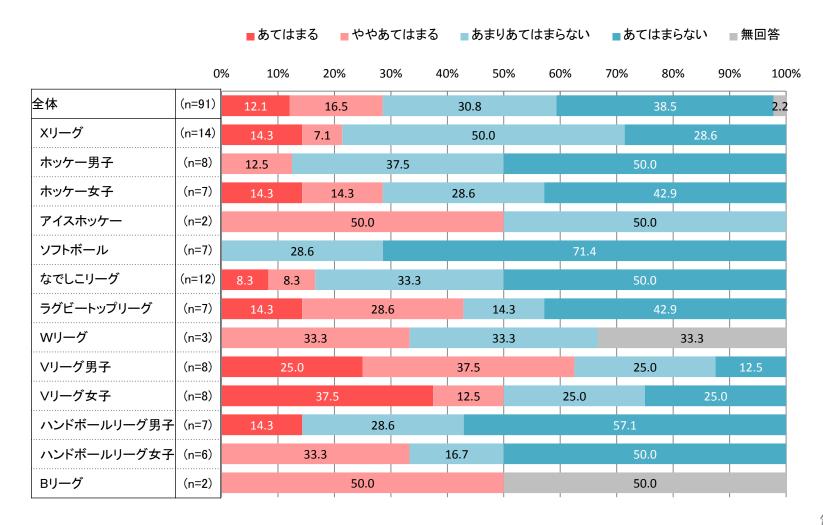
- ・最も力を入れる地域活動は「自組織が取組むスポーツ種目の活用」との回答が最も多く約6割。
- ・「地域への人的・物的資源の提供」を地域活動とするのは**9割を超える**が、「地域への経済支援」は**3割以下**にとどまった。
- ・"地域への支援"は「選手や指導者(監督・コーチ)による小中学生など子供を対象とした スポーツ教室」が積極的に実施されている。
- ・"**地域からの支援**"は試合開催時のボランティアを中心とした「人的・物的」なものと、 地方行政が設定した活動助成金など「経済的」なものが中心。

<問6>

- ・地域活動に関する課題認識は、プロクラブほど明確度が高い。
- ・組織が考える地域課題とは「地域との連携強化を通じたクラブや競技の認知度向上」 と「競技普及」などが主である。

問5-1.『地域への経済的支援』は地域活動でしょうか?

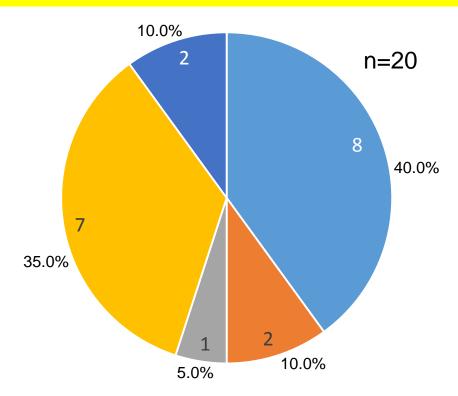
- ●全体平均では『あてはまる』と『ややあてはまる』を選択したクラブの合算は28.6%であった。
- ●アイスホッケー、ラグビートップリーグ、Vリーグ(男女)、ハンド女子は全体と異なる傾向を示した。
- ●ソフトボールは回答した全クラブが『あてはまらない・あまりあてはまらない』を選択した。



問5-1.『地域への経済的支援』として取り組むものは? ※自由記述

- 『協賛や寄付の提供』が最も多く**8クラブ (40.0%)** が回答。
- 『地域や地元企業への貢献』も**7クラブ (35.0%)** から回答。
- ●『飲料等、物品の提供』と『ホームゲーム開催による観客動員』と回答したのは、各**2クラブ(10.0%)**。

※自由記述方式の為、内容が近似なものは「集約」、異なる内容は「独立」して集計。



■協替や寄付の提供

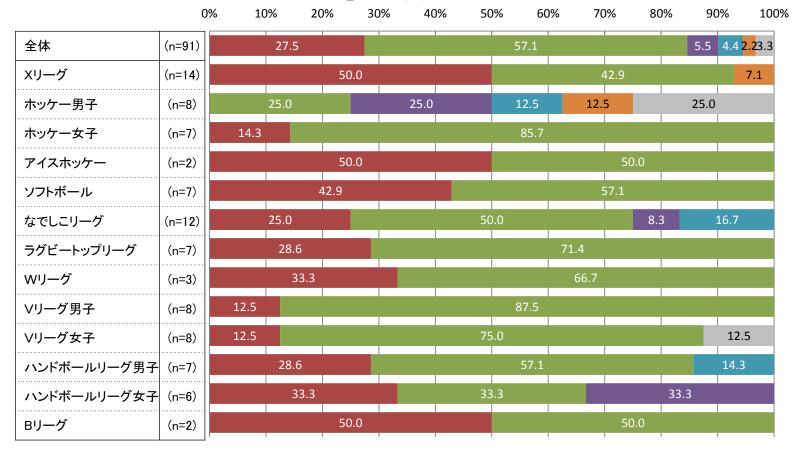
■飲料等、物品の提供

■ ボランティア

- ■地域や地元企業への貢献
- ■ホームゲーム開催による観客動員

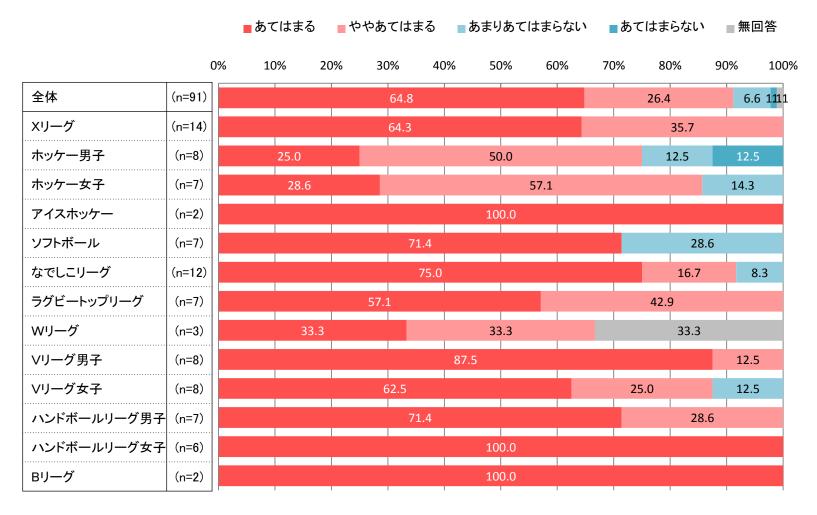
問5-1.地域活動として『特に力を入れている・重要なもの』は?

- ●全体平均では『自組織の取り組むスポーツ種目の地域での活用』が最も多く、**57.1%**。
- アイスホッケーとBリーグは、全く同じ傾向を示している。
- ●なでしこリーグ、ハンドボール男子、ハンドボール女子は近似傾向を示している。
 - ■地域への経済的支援
 - ■地域への人的・物的資源の提供
 - ■自組織の取り組むスポーツ種目の地域での活用
 - ■経済的支援を地域から提供してもらうための仕組みづくり



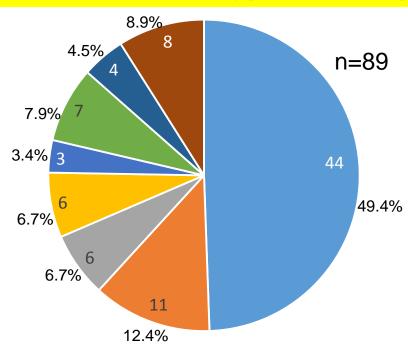
問5-2.『地域への人的・物的資源の提供』は地域活動でしょうか?

- ●全体平均では『あてはまる・ややあてはまる』と回答したのは**91.2%**。
- ホッケー男子とソフトボール。それぞれ約3割が『あてはまらない・あまりあてはまらない』と回答した。
- アイスホッケーとBリーグでは回答した全てのクラブが『あてはまる』と回答した。



問5-2.『地域への人的・物的資源の提供』として取り組むものは? ※自由記述

- 『地域イベント (お祭り、スポーツ、福祉) への参加』との回答が最も多く44クラブ (49.4%) 。
- ●『保有施設の貸し出し(イベント、試合など)』が11クラブ (12.4%) 『ボランティア活動』が8クラブ (8.9%)。
- ●『1日警察署長、税務署長、消防署長』に取り組んでいるのは7クラブ (7.9%)。



- ■地域イベント(お祭り、スポーツ、福祉)への参加 保有施設の貸し出し(イベント、試合など)
- ■地域大会へのスタッフ(役員、審判など)派遣
- ■グッズや観戦チケットなどの提供
- ■大会の開催

- 子ども向けスクールの開催
- ■1日警察署長や税務署長など
- ■ボランティア活動

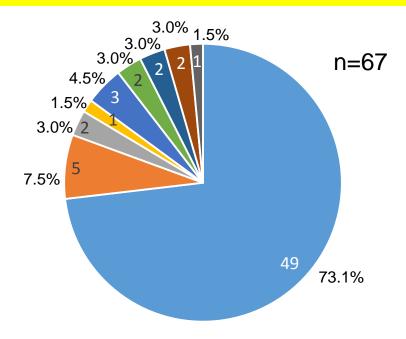
問5-3.『自組織の取組むスポーツ種目の地域での活用』は地域活動でしょうか?

- ●全体平均では**95.6%**のクラブが『あてはまる・ややあてはまる』と回答。
- アイスホッケー、Vリーグ男子、ハンドボール男子、Bリーグでは回答した全てのクラブが『あてはまる』と回答。
- Xリーグ、ホッケー男子、ハンドボール女子には『あてはまらない』『あまりあてはまらない』と回答したクラブがあった。



問5-3.『自組織の取り組むスポーツ種目の地域での活用』として取り組むものは?※自由記述

- ●『子どもや大人向けスクールの開催』がもっとも多く、**49クラブ(73.1%)**から回答。
- ●『ジュニアチームの育成』と回答したのは**5クラブ(7.5%)**。次いで『指導者講習会』が**3クラブ(4.5%)**。

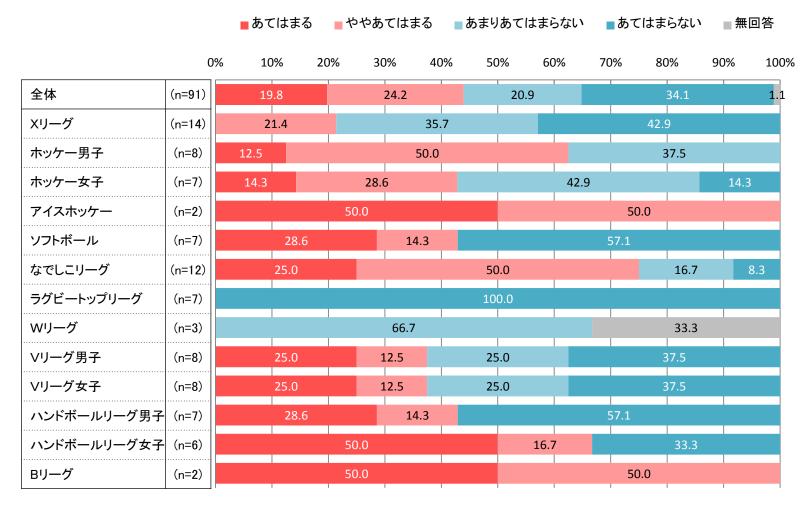


- 子どもや大人向けスクールの開催 ジュニアチームの育成
- 冠大会の開催
 - 心人女心川臣
- ■指導者講習会
- 地域スポーツクラブの指導
- チームによるボランティア

- 要請に応じて対応
- ■行政へのサポート
- ■選手や指導者の派遣

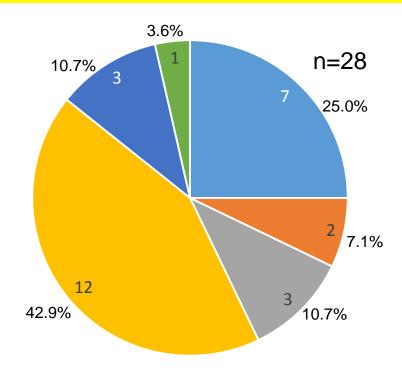
問5-4.『経済的支援を地域から提供してもらうための仕組みづくり』は地域活動でしょうか?

- ●全体平均では『あてはまらない』が34.1%と最も多く、残りは、ほぼ同率。
- 『アイスホッケー』と『ラグビートップリーグ & Wリーグ』では**回答傾向が真逆**である。
- ●アイスホッケーとBリーグは『あてはまる&ややあてはまる』との回答に集中した。



問5-4.『経済的支援を地域から提供してもらう仕組み作り』として取り組むものは?※自由記述

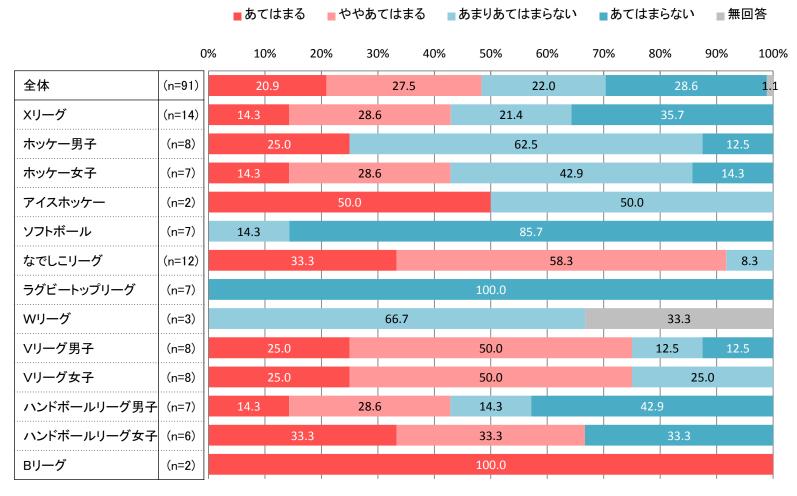
- ●『行政の支援策活用(助成金など)』が最も多く、**12クラブ(42.9%)**。
- ●『個人や企業サポーター、ファンクラブ』と回答したのは**7クラブ(25.0%)**。
- ●『スポンサーの開拓や営業』『地域との連携・協定』と回答したのは、それぞれ**3クラブ(10.7%)**。



- ■個人や企業サポーター、ファンクラブ その他
- ■スポンサー開拓や営業 ●行政の支援策活用
- 地域との連携・協定
- ■選手の雇用受入

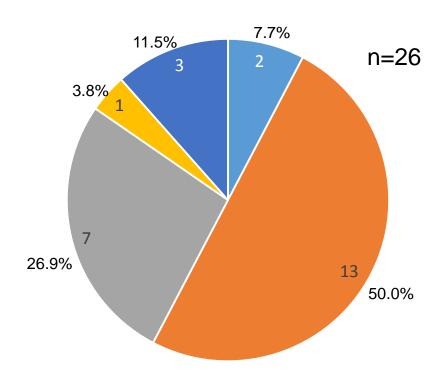
問5-5.『人的・物的支援を地域から提供してもらうための仕組みづくり』は地域活動でしょうか?

- ●全体平均では『ややあてはまる』と『あてはまらない』が同率。同様に『あてはまる』と『あまりあてはまらない』も同率。
- ソフトボール、ホッケー男子、ラグビー、Wリーグは回答した全クラブが『あてはまらない・あまりあてはまらない』と回答。
- ●Bリーグ、なでしこリーグ、Vリーグ(男女)、ハンド女子では『あてはまる・ややあてはまる』が過半数。



問5-5.『人的・物的支援を地域から提供してもらう仕組み作り』として取り組むものは?※自由記述

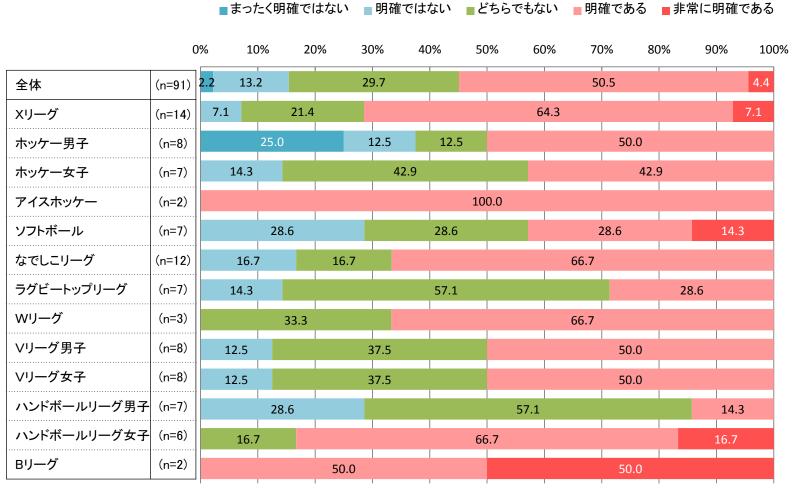
- ●『大会時の支援や補助受入』が最も多く、**13クラブ(50.0%)**。
- 『地域団体や組織との連携』と回答したのは**7クラブ (26.9%)**。



- ■サポーターズ組織の活用 ■大会時の支援や補助受入 ■地域団体や組織との連携
- グッズ提供や配布
- ■その他

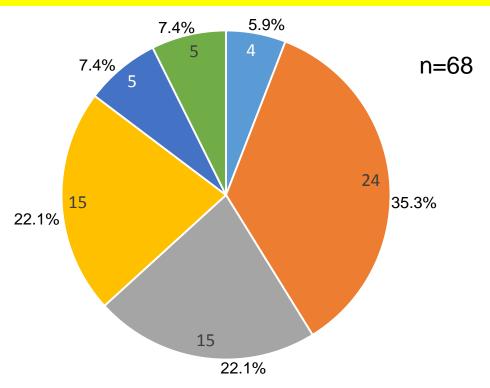
問6.今後、地域活動をしていく上で、課題は明確ですか?

- ●全体では『明確である・非常に明確である』が**合算で54.9%**。
- ラグビートップリーグ、ハンド男子を除く各リーグでは『非常に・明確である』を選択したクラブが**半数近く**になった。
- ●ホッケー女子、ラグビートップリーグ、ハンド男子では『どちらでもない』が最も多い。



問6-1.『地域活動を行う上での課題』とは? ※自由記述

- 『地域との連携強化』が最も多く、**24クラブ (35.3%)** から回答。
- ●『認知度向上、競技普及』や『人手や資金の不足』と回答したのは、それぞれ**15クラブ(22.1%)**。
- ●『会場確保』『支援体制強化』『その他』も、ほぼ同数。



- ■支援体制の強化
- ■地域との連携強化
- ■認知度向上、競技普及

- ■人手や資金の不足
- ■会場確保等に問題
- ■その他